

児童文学作家

国松 俊英さん講演会

講師紹介

くにまつ としひで
国松 俊英さん

児童文学作家

滋賀県生まれ。同志社大学商学部卒業後に、童話創作をはじめ。

1975年『ホテルの町通信』（偕成社）でデビュー。ノンフィクションの分野においても、鳥や自然、歴史上の人物の生涯を描いた作品を多数発表している。

『いまよみがえる縄文の都 三内丸山遺跡』（佼成出版社）『スズメの大研究』（PHP研究所）で産経児童出版文化賞推薦賞、2012年に『トキよ未来へはばたけ』（くもん出版）で第7回福田清人賞、2019年に『ノンフィクション児童文学の力』（文溪堂）と、これまでの執筆活動が評価され、第2回児童文芸ノンフィクション文学賞特別賞を受賞した。

下松市の小学5年生が使っている国語の教科書（東京書籍）に、書下ろし作品「手塚治虫」が掲載されている。

子どもの本を

書いて45年

書く喜び

読む楽しさ



『手塚治虫』（岩崎書店）



『おかしな金曜日』（偕成社）

日時

12/15

金

13:30~15:00

（開場 13:00~）

会場

ほしらんどくだまつ 交流室1A・1B

定員

40名（先着順・入場無料）

お申込

電話または図書館カウンターまで

主催・お問い合わせ：下松市立図書館（0833）41-0093